プロと白熱！第1回ぶんぶんカップ

８月15日、市総合体育館で、「第１回ぶんぶんカップ」が開催されました。本大会は、第一線で活躍するデンソーエアリービーズの選手をチームメイトとして迎え、プロのバレーボール選手と一緒にプレーするという特別ルールのもと実施され、白熱した試合が繰り広げられました。

市内外から12のバレーボールスポーツ少年団が参加し、積極的に選手とコミュニケーションをとるなど、貴重な時間を楽しんでいました。

T2プロジェクト

８月７日、８日の両日、市役所で、７年度「たむら探求プロジェクト（T2プロジェクト）」を開催しました。市内の中学生21人が参加し、大越町出身の大橋俊則さん（三菱商事勤務）がコーディネーターを務め、「未来の田村市、自分の将来をデザインする」をテーマに議論を行いました。

生徒は、自身が考えたことを紹介し、オンラインでカリフォルニア大学バークレー校のデボラ教授から助言をいただきました。

避難所宿泊体験

７月26日、27日の両日、市総合体育館で、防災知識習得と防災意識の高揚を目的として「避難所宿泊体験」を実施しました。

市民や船引高校生徒、市の新規採用職員が参加し、災害時に役立つロープの結び方講座の実施や避難所の設営、給水車からの給水体験、非常食での食事などを体験し、実際の避難所を想定した体育館に一泊しました。市防災アドバイザーの佐原禅さんが講師を務めた防災講義では、日常からの災害に対する備え等をお話しいただきました。

市教育講演会

８月22日、市文化センターで市内の小・中学校の教職員を対象に、指導力・資質向上、教育活動の充実に資することを目的とした教育講演会を開催しました。

講師に高知県教育委員会事務局教育課程推進専門官の齊藤一弥さん、学力調査官の贄田悠さんを迎え、齊藤さんからは「小中（算数・数学科）を繋ぐ能力ベイスの授業づくり」、贄田さんからは「全国学力・学習状況調査を踏まえた学習指導の充実・改善」と題して、ご講演をいただきました。

断熱ワークショップ

８月19日、船引高校で、断熱ワークショップを開催しました。

福島イノベーション・コースト構想推進機構の「復興知」事業の一環として、獨協大学が企画、実施したもので、船引高校生徒12人が参加。ホットプレートを使った断熱材の実験や、サーモカメラを使って、教室内の温度を視覚的にとらえるなどしました。夏は外からの熱を入りにくくし、冬は温めた空気を逃さないといった断熱の役割を学び、その後、教室の窓に内窓をとりつける作業をしました。

お盆野球大会

８月15日、都路運動場で都路町スポーツ振興会主催のお盆野球大会が開催されました。地元町民や帰省客、中学生たちで編成された６チームが参加し、トーナメント制により行われました。参加者は、久しぶりの仲間たちと親睦を深めながら、熱い試合を繰り広げていました。

優勝は強梨クラブチーム、準優勝はThe・ブレイキングダウン２チームでした。

婚活サポート

心に寄り添い、ご縁をつなぐ。
あなたの婚活の「伴走者」に。

市は、結婚・妊娠・出産・子育てと「切れ目ない支援」を実現するため、結婚のきっかけとなる出会いづくりのサポートに取り組んでいます。

ご相談・お問い合わせはこちら
総務部 企画調整課 ☎61-7615

結婚したいあなたへ

相談無料

出会いを求める人は結婚世話やき人にご相談ください。

連絡・相談 ▶ 相談プロフィール登録 ▶ 出会い ▶ 交際

結婚を応援したいあなたへ

出会いづくりのお手伝いをしませんか？

結婚世話やき人に応募ください

お問い合わせ申し込み申請 ▶ 登録 ▶ 活動開始

結婚を応援したい企業・団体・店舗

地域一丸となって、出会い・交流を応援しませんか？

結婚応援企業に応募ください

お問い合わせ申し込み申請 ▶ 登録 ▶ 名称・所在地をホームページで公開 ▶ 従業員へ市や県の結婚支援事業の情報提供・ポスター掲示・会場提供など

～結婚世話やき人とは～

結婚に対する取り組みを通して、地域の少子化対策に資することを目的とした、完全ボランティアによる制度です。

佐藤みつ子さん

渡邊啓子さん

私たちがサポートします！

My Dream #7

計300キロ持ち上げ インターハイ優勝

鈴木 優人さん

県内外の各分野で活躍している田村市出身者を紹介するコーナー

田村高校ウエイトリフティング部3年の鈴木優人さんが8月11日、全国高校総体（インターハイ）の重量挙げ男子102キロ超級で初優勝しました。鈴木さんに全国制覇の喜びや、自身が描く夢を伺いました。

Q 高校から重量挙げに転向したそうですが、そのきっかけを教えてください。

A ウエイトリフティングの顧問の先生に誘われたことがきっかけです。中学ではサッカー部に所属していましたが、高校では部活に入るつもりはありませんでした。しかし、周りと比べて体格ががっしりしていることもあり、スカウトされました。

Q 念願の全国制覇を果たした今の気持ちを教えてください。

A 今までの練習が報われてよかったと思いました。昨年の全国大会では思っていた結果が出ず悔しい思いをしましたが、今年は記録を更新し、自分の成長を実感しました。また、家族や友人、先生も一緒に喜んでくれたことがとてもうれしかったです。

Q これまで、どのような練習を積んできましたか？

A 常に「考える練習」を大切にしてきました。例えば失敗した後はどうすれば改善できるかを意識して取り組みました。たくさん練習を積むことで、自信にもつながりました。

Q 自身が描く夢、田村市民へのメッセージをお願いします。

A 大学に進学してもウエイトリフティングを続けたいと思っています。これからも頑張るので市民の皆さん、優しく見守っていてください。